

PV事業推進部

PV事業推進部では発電する屋根「エコロニー」の製造、販売を通じて、省エネルギー、二酸化炭素の排出抑制に取り組んでいます。

地球温暖化、環境汚染等への対策が人類の急務となっている今、一人ひとりの取り組みが欠かせないものとなっています。地球温暖化対策として、日本は2008年から2012年までの間に、二酸化炭素の排出量を1990年比で6%削減すること

を国際的に約束しました。
(地球温暖化防止京都議定書)

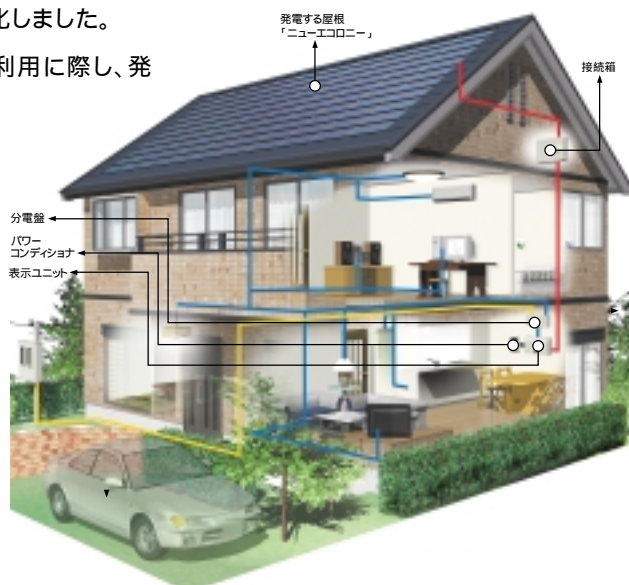
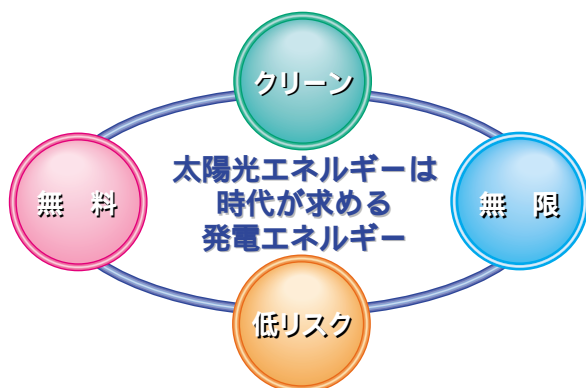
そのため、国家的にも次世代エネルギーの普及に関する取り組みがなされており、太陽光、風力、地熱等、自然エネルギーの利用が促進されています。

当社は、その中でも最大のエネルギー量を誇る太陽に注目し、太陽光を利用して発電する屋根材を製品化しました。

また、新エネルギーの利用に際し、発

電量の割に広大な敷地が必要という問題についてはその場所を住宅の屋根部分に求めるということでこの問題を解決。まさにひとりひとりの取り組みによって環境問題解決に貢献できる製品であると考えています。

このクボタの発電する屋根「エコロニー」で環境調和型社会の実現を目指します。



クボタの発電する屋根「エコロニー」

クボタの発電する屋根「エコロニー」は太陽の光を電気に変換する高機能屋根材。無限、クリーンな太陽光を利用し、発電の際にも二酸化炭素を排出しません。

また、当社は製品を製造するときにかかるエネルギー分を出来るだけ早くとり返すことができこそ、環境にやさしい

製品と言える、と考えます。このエネルギー回収にかかる年数は「エネルギーペイバックタイム/EPT」と呼ばれており、エコロニーのEPTは2.1年。これは、太陽光発電システムの中でも最も少ない部類です。

さらに、ブラックフェイスの屋根一体型

を採用することで、街の景観に調和するすっきりとした暮らさがりを実現しました。21世紀は、環境の世紀。「エコロニー」は地球の環境と未来、私たちの生活に大きく貢献します。

